

東部方面斎場（仮称）整備通信

No.2 令和元年5月

発行：横浜市健康福祉局環境施設課

〒231-0017 横浜市中区港町 1-1

TEL:045-671-2450 FAX:045-664-6753

◆平成31年3月に説明会を行いました

周辺市民や企業の皆様に向けて、生麦地区センター（鶴見区）で東部方面斎場（仮称）整備の検討状況に関する説明会を実施しました。

日時

- 第1回：平成31年3月22日（金）
午後6時30分～（参加人数：27人）
- 第2回：平成31年3月23日（土）
午後2時00分～（参加人数：16人）

主な質疑内容

- 遺体安置設備の収容体数はどのくらいか。また、対面所は設けるのか。
→設計は平成31年度から行うため、具体的な収容体数や面会の方式などは未定ですが、他都市の運用例などを参考にしながら、検討してまいります。
- 直葬（通夜・告別式などは行わず、遺体安置設備から直接、火葬すること）もできるのか。
→直葬でのご利用も可能です。
- クランク状道路の道幅は狭いので、安全確保に課題があると感じる。
産業道路から入退場できるように、産業道路の交差点改良（中央分離帯の一部除去）を確実に実施すると確約ができるのかどうか。
また、この場所に不慣れな斎場利用車両のルートとして、クランク状道路を日常的に使うという選択肢があった方が良いのか、ない方が良いのか、検討してほしい。
→交差点改良に向けた警察協議は、平成31年度に実施する周辺交通量調査の結果を踏まえて行います。このため、現時点で交差点改良ができるとは確約できません。仮に、交差点改良できない場合には、クランク状道路ではなく、神奈川区方面を經由し、産業道路から左折で入場するのが主要なルートになると考えております。
しかし、交差点改良は必要なことだと強く思っておりますので、実現に向けて、警察と協議してまいります。



▼資料はこちら▼

https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/saijo/to-saijou-seibi.files/0017_20190403.pdf

◆周辺交通量調査・自主環境アセスメントを実施します

令和元年度に斎場整備地周辺で以下の調査を実施します。

①周辺交通量調査

昨年度実施した市営斎場の交通量調査の結果と合わせて、斎場開所後の交通量を予測し、周辺交通への影響を考慮した通行ルートや斎場利用者の安全に配慮した通行ルートを検討します。

②自主環境アセスメント

当事業は、施設規模からすると「横浜市環境影響評価条例」の対象外ですが、周辺環境に及ぼす影響を確認するための調査等を行います。

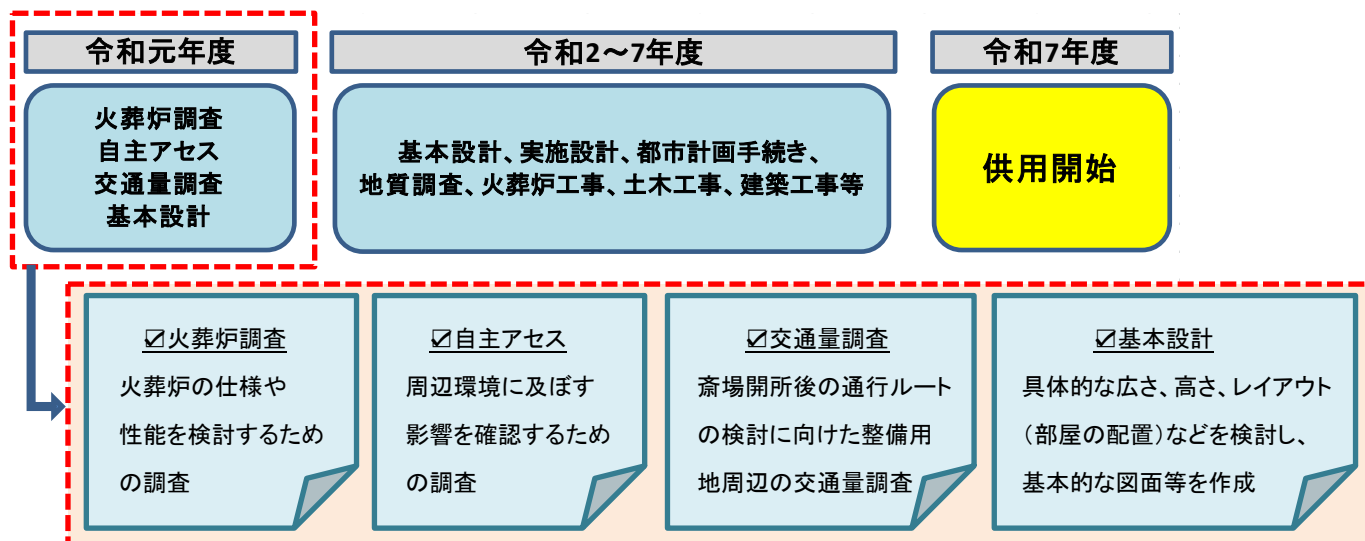
参考情報

整備概要

所 在	鶴見区大黒町 18-18(市有地)	面 積	8,838.97 m ²
用 途 地 域	工業専用地域	建 蔽 率 / 容 積 率	60% / 200%
臨 港 地 区	横浜港臨港地区(商港区)	現 況	暫定利用中 (鶴見区スポーツ広場)
規 模 (想 定)	延床面積 約 20,000 m ²	整 備 費	約 173 億円
整 備 諸 室	火葬炉 16 炉(予備炉1炉含む)、炉前ホール(告別・収骨スペース)、休憩室、駐車場、事務室、売店。葬祭ホール、遺体安置設備も整備します。		

※現時点での想定概要です。今後の設計作業等により、変更になる場合があります。

スケジュール



※現時点での想定スケジュールです。事業の進捗状況により、変更になる場合があります。

事業の進捗状況は、この「整備通信」や説明会の開催、ホームページなどを通じてお知らせしてまいります。

▼HPはこちら▼

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/saijo/to-saijou-seibi.html>

